

## 原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について ( 2018年7月 検針分 )

2018年2月～2018年4月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。  
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2018年7月 検針分の単位料金は、2018年6月 検針分 に比べて、1m<sup>3</sup>(45MJ)当り  
+ 0.45 円(消費税込)、標準家庭(26m<sup>3</sup>)では月額 + 12 円の調整を行うこととなりました。

### ●一般ガス供給約款料金における調整単位料金 (消費税込)

	単位	2018年6月 (A)	2018年7月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	224.04	224.49	+ 0.45
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	166.05	166.50	+ 0.45

### ●平均原料価格

	単位	2018年1月 ～ 2018年3月	2018年2月 ～ 2018年4月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	51,330	52,060	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	63,160	58,830	
平均原料価格	円/トン	52,140	52,620	46,100

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9541 + LPG平均価格 × 0.0502 (10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\ &= 52,620 - 46,100 = 6,500 \text{ 円/トン} \\ &\quad (100円未満端数切捨て) \end{aligned}$$

### ●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} + 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \quad (\text{小数点第3位以下の端数切捨て})$$

	単位	(A) 基準単位料金	(B) 2018年7月 検針分 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m <sup>3</sup> ～24m <sup>3</sup> )	円/m <sup>3</sup>	218.60	224.49	5.89
B料金表 (24m <sup>3</sup> を超える)	円/m <sup>3</sup>	160.61	166.50	5.89

### ●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m <sup>3</sup> )	(A) 2018年6月	(B) 2018年7月	影響額 (B)-(A)
26	6,448	6,460	+ 12

計算式・・・基本料金(税込) + 調整単位料金(税込) × 使用量 (1円未満の端数は切り捨て)